

## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月10日

上場会社名 大村紙業株式会社  
 コード番号 3953 URL <http://www.ohmurashigyo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大村 日出雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 八巻 和彦

TEL 0467-52-1032

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,244	8.6	71	134.7	76	121.8	50	130.2
2021年3月期第1四半期	1,145	13.8	30	59.6	34	54.9	21	55.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	10.44	
2021年3月期第1四半期	4.54	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	7,759	5,472	70.5
2021年3月期	7,507	5,473	72.9

(参考)自己資本 2022年3月期第1四半期 5,472百万円 2021年3月期 5,473百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		10.00	10.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,425	6.0	156	67.0	156	60.1	95	46.7	19.95
通期	5,000	4.1	353	30.7	353	28.0	219	34.1	45.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	4,884,000 株	2021年3月期	4,884,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	72,324 株	2021年3月期	72,324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	4,811,676 株	2021年3月期1Q	4,811,676 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大が依然として収まらず、外出自粛や一部営業時間の短縮などにより、社会経済活動が制限されるなど厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況での推移となりました。

この様な状況下において、生産量につきましては、段ボールシート12百万㎡(前年同四半期比5.2%増)、段ボールケース8百万㎡(前年同四半期比11.1%増)となりました。

また、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,244百万円(前年同四半期比8.6%増)となりました。利益面につきましては、経常利益76百万円(前年同四半期比121.8%増)、四半期純利益50百万円(前年同四半期比130.2%増)となりました。

販売品目別の概況は次のとおりであります。

#### (イ) 段ボールシート

売上高は216百万円

総売上高に占める割合は17.4%です。

#### (ロ) 段ボールケース

売上高は790百万円

総売上高に占める割合は63.5%です。

#### (ハ) ラベル

売上高は45百万円

総売上高に占める割合は3.7%です。

#### (ニ) その他 (主に包装資材)

売上高は192百万円

総売上高に占める割合は15.4%です。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ252百万円増加し、7,759百万円となりました。これは主に、現金及び預金が140百万円、有形固定資産が106百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ253百万円増加し、2,287百万円となりました。

その結果、純資産は5,472百万円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月13日の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,375,809	3,516,146
受取手形及び売掛金	1,195,714	1,151,515
商品及び製品	52,663	54,770
原材料及び貯蔵品	300,996	329,714
その他	14,342	20,297
貸倒引当金	△1,195	△1,151
流動資産合計	4,938,331	5,071,291
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	268,143	270,283
土地	1,391,532	1,391,532
その他(純額)	626,215	730,346
有形固定資産合計	2,285,891	2,392,162
無形固定資産	11,258	11,111
投資その他の資産		
投資有価証券	205,511	201,603
その他	66,631	83,479
貸倒引当金	△506	△114
投資その他の資産合計	271,636	284,967
固定資産合計	2,568,786	2,688,241
資産合計	7,507,117	7,759,532
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,075	1,190,163
未払法人税等	35,140	49,112
賞与引当金	81,373	132,563
その他	154,144	209,456
流動負債合計	1,419,733	1,581,295
固定負債		
リース債務	29,849	121,525
退職給付引当金	133,463	131,009
役員退職慰労引当金	434,083	436,418
その他	16,900	16,900
固定負債合計	614,295	705,853
負債合計	2,034,028	2,287,149

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,000	554,000
資本剰余金	566,030	566,030
利益剰余金	4,353,134	4,355,263
自己株式	△41,030	△41,030
株主資本合計	5,432,134	5,434,262
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,954	38,120
評価・換算差額等合計	40,954	38,120
純資産合計	5,473,088	5,472,383
負債純資産合計	7,507,117	7,759,532

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,145,583	1,244,248
売上原価	844,307	893,230
売上総利益	301,276	351,017
販売費及び一般管理費	270,783	279,449
営業利益	30,492	71,568
営業外収益		
受取利息	338	335
受取配当金	3,170	3,584
受取保険金	979	—
固定資産売却益	126	981
雑収入	395	1,428
営業外収益合計	5,011	6,329
営業外費用		
支払利息	110	437
売上割引	848	940
雑損失	78	76
営業外費用合計	1,038	1,454
経常利益	34,465	76,442
特別利益		
固定資産売却益	—	361
特別利益合計	—	361
特別損失		
固定資産除却損	320	0
投資有価証券評価損	425	—
特別損失合計	746	0
税引前四半期純利益	33,718	76,804
法人税、住民税及び事業税	20,349	42,824
法人税等調整額	△8,460	△16,266
法人税等合計	11,889	26,558
四半期純利益	21,829	50,245

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、出荷時点で、収益を認識しておりましたが、顧客に製品が到着した時点で、履行義務が充足されたと判断し収益を認識するように変更しております。なお、自社の配送部門により配達しておりますので、出荷日に製品が顧客に到着するようになっております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間において、損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。